

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 教育文化部会（第4回）
開催日時	平成27年9月29日（火） 午後7時から午後9時
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	岡庭部会長、矢野部会長代理、大高委員、名内委員、藤井委員、藤川委員、堀委員、前川委員
事務局出席者	大久保教育部長、青砥教育委員会管理課長、早苗生涯学習課長、白戸文化センター館長（兼図書館長）、佐藤スポーツ課長、傳法企画財政部長、渡辺企画課長、西岡企画調整係長、清水企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 会議の進行等について 3 議件 <ul style="list-style-type: none"> （1）音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の審議会の内容及び日程等について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策と第5期総合計画基本計画との関連 ・第5期総合計画後期基本計画見直し案（総合計画審議会専門部会資料）
会議結果	下記のとおり
出された 主な意見等	<p>■音更町まち・ひと・しごと総合戦略について</p> <p>委員：出生数の数値目標が5年間で2,004名とある。パーセンテージであれば細かい数字は分かるのが、4名という端数はどういう考えか。 消防、防災、福祉、介護といろいろあって、防犯という観点がなかったのだからいいか。 文化、芸術、スポーツといったことが、思いとしては盛り込まれているのだろうが、それが表現されていないのではないかと感じた。文化や芸術、スポーツの振興をどこかに入れてはどうか。</p> <p>事務局：人口ビジョンを作る際に、合計特殊出生率を上方修正して、目標数値を作って毎年の自然増の数値を足し上げているが、それを5年分積み上げると、2,004人という数字になる。 防犯、芸術等について、総合戦略は人口減少対策に特化するということで、絞り込みをさせていただいたところ。防犯、文化・芸術の視点はまちづくりをする上での重要性は十分承知している。他の部会からの意見も含め、総合的に判断させていただきたいと思う。</p> <p>部会長：決して軽視しているわけではなく、メリハリをつけているのだと思う。</p> <p>委員：育児については詳しく書かれているが、出産に関しては、例えば子どもができてにくい人たちに対する補助があるのか、今後そうした予定があるのかお聞かせいただきたい。バスの満足度が低いということで、路線バスの利用に対するバス券の補助などは考えているのか。</p> <p>事務局：なかなか子どもができない女性への対策はすでに実施している。路線バス運行に当たっては町も数千万円の補助を出しており、皆さんに利便性を図っているということで考えていただきたい。</p> <p>委員：「音更の魅力で人を呼び込む」「音更に住み続けたい、住んでみたいと思える環境をつくる」「十勝圏域としても魅力を高める」というところで、小中学校の修学旅行を誘致できないものか。どうして帯広や音更の魅力を道内の子に</p>

見せないのか。今の魅力発信の考え方は、大人向けで、将来のことを考えるのであれば、今、種をまいておくべきではないか。教育と観光という関係で考えてみたらどうかと思う。

「少人数学級やチーム・ティーチングの教員数の増」は5人となっているが、小中学校の数を考えると少ないのでは。少子化による高齢化は教員も同じで、退職する教員も多くなるが、この教員に退職した教員も含めると、コストをかけずに実施できるのではないかと思う。

事務局：道内の子ども達が修学旅行で十勝に来たということはこれまでもないのかなと思う。音更を含め十勝全体で十分魅力あるものになると思うので、定住自立圏の中で、ご意見として承らせていただきたいと思う。

また、先ほどのチーム・ティーチングの5人について、免許を持っているが教員として採用されていない若い方を3年間くらい、町の方で予算をみて、チーム・ティーチングを実践してもらいながら試験に受かってもらうというもの。音更町出身の学生ということで、Uターン、雇用促進という意図もある。小学校だけで5人の目標。中学校では教科ごとに先生が変わることもあり、小学校を前提としているということでご理解いただきたい。

委員：退職教員はどれくらい活用しているのか。

事務局：再任用が主。再任用でない場合は、嘱託という形。教育委員会であれば、教育推進委員、相談業務などで1、2名を採用しているのが管内の状況だと思う。

委員：日本の子ども達はアイデンティティの醸成が弱い傾向があるようで、難しい問題だが、学力と並行しながらアイデンティティを育むということが表現としてあった方がいいのではないか。

事務局：総合計画にはそういう考えも含んでいるが、人口減少対策としての総合戦略としては難しい。

委員：インパクトに欠ける気がする。

事務局：インパクトは大事だと思うが、交付金は将来にわたって続くものではなく、起爆剤という性質も持っているので、総合戦略にあたっては、その辺りも踏まえた考え方が必要かと思う。

委員：道の駅はもう作らないのか。

事務局：インターチェンジ周辺で検討しているが、法規制などの問題があり、工業団地の拡張に含めて取り組んでいる。

委員：産業や観光については、観光協会やしかるべき人にもっと押し付けてもいいのではないか。もちろんお金の裏付けも必要だと思うが。人が集まって波及効果がでてるようにしてほしいと思う。

※専門部会の開催は今回が最後で、今後は必要に応じ部会長会議で調整するものとして承された。